

高知市社会福祉協議会

2021年度活動報告誌



【基本理念】

誰もが安心していきいきと暮らせる地域社会の実現をめざします

【新型コロナウイルス感染症の影響を受けた方への緊急支援】

令和3年度も新型コロナウイルス感染症収束の兆しは見えず、度重なる休業や営業自粛の要請、国内消費の減少により、経済活動を縮小したり廃業に追い込まれたりする企業もあり、生活困窮に至る家計も少なくありませんでした。こうした中、所得が減少した世帯に対する支援として、令和2年3月から生活福祉資金貸付（緊急小口資金・総合支援資金）の特例貸付が開始され、令和3年度は受付期間が数回延長され、年度末累計で約1万8千世帯、総額約74億円の貸付を行いました。

〔緊急小口特例資金〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、休業等により収入の減少があり、緊急かつ一時的な生計維持のための貸付を必要とする世帯に対しての貸付

○相談申請状況（令和4年3月末時点）

6,773件 1,188,790,000円

〔総合支援資金特例貸付〕

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入の減少や失業等により生活に困窮、日常生活の維持が困難となっている世帯に対しての貸付

○相談申請状況（令和4年3月末時点）

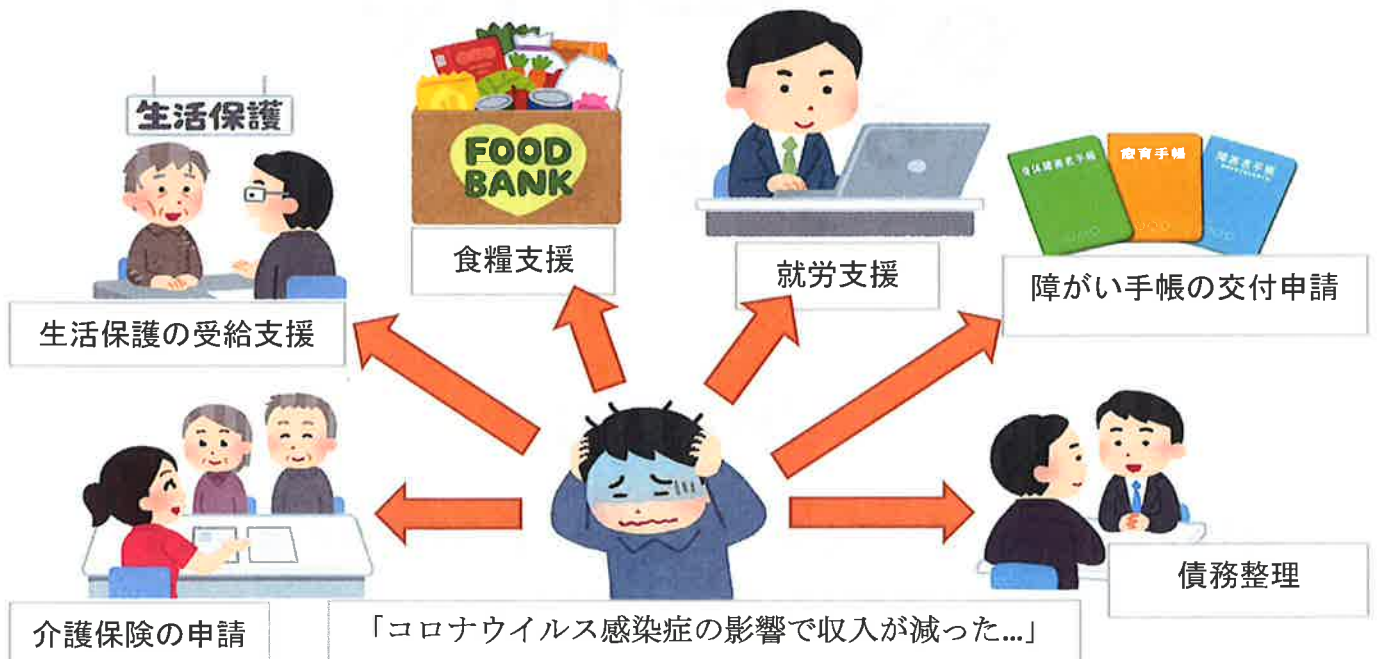
| | | |
|------|--------|----------------|
| 貸付 | 5,059件 | 2,650,640,000円 |
| 延長貸付 | 2,990件 | 1,568,050,000円 |
| 再貸付 | 3,668件 | 1,942,370,000円 |

【相談3原則「断らない」「諦めない」「投げ出さない」をモットーに！】

高知市生活支援相談センターでは、コロナ対策と併せて相談者の方の抱える生活課題の解決に向けて一体的に取り組んでいます。

前述の特例貸付の受付と併せてコロナ禍の中で生活の困りごとを複合的に抱えている方に対して、職員が問題解決に向けて相談者に寄り添い、必要な支援・制度へのつなぎ、就労など自立のための支援を行いました。また、相談支援の内容が貸付だけに終わらないよう、“断らない”“諦めない”“投げ出さない”の相談3原則を掲げ、直面する生活課題のみならず、相談者に潜在する課題解決に向けて、市社協の強みである多様な支援体制と連携を図りながら取り組んでいます。

今後も出口の見えない生活に不安を抱いている相談者からの課題を丁寧に聞き取り、その人に寄り添った支援を行っていきます。



【「ほおっちょけん」のまちづくりの推進 ～ひとがつながる場づくり～①】

令和3年度は、新型コロナの影響により外出自粛が長期化する中で、通いの場・集いの場の開催中止や延期が余儀なくされている状況でした。

特に、高齢者が集まる会場は、感染すると重症化リスクが高いため、どれほど対策を講じて再開しても、人が集まらない傾向があります。

しかしながら、このような状況下だからこそ、つながりを切らさず「ひとがつながる場」を作らないといけないと、下表にある新たな“居場所”の新規立ち上げを支援しました。

| 区分 | サロン | 認知症カフェ | 子ども食堂 |
|---------|-----|--------|-------|
| 令和3年度新規 | 2か所 | 3か所 | 2か所 |

◎新たな“居場所”の紹介

キッズサロンあら秦（アラジン）（秦地区）

秦地区の住民（20代男性）から市社協に「学習や遊びを提供できる場として、子ども食堂を地域でつくりたい」と相談がありました。相談を受けた地域福祉コーディネーターは、秦地域包括支援センター職員と連携し、開催場所や居場所の内容について相談者と検討を重ね、子ども食堂開催希望のあった配食ボランティア「いずみ会」にも声をかけ、令和3年11月20日秦ふれあいセンターで「キッズサロンあら秦」を開催しました。

当日は、ズンバ（ダンスステップを基本としたエクササイズ）と、高知大学学生による学習支援を行う会場とに分かれ、親子で汗をかいて踊ったり、宿題を教わったりして、子どもたちは思い思いに楽しみました。また、コロナ禍により会場で食事することはできないため、参加者にはお弁当を配布することにしました。

現在も新型コロナウイルス感染症の状況に留意しながら月1回開催を続けています。



【「ほおっちょけん」のまちづくりの推進 ～ひとがつながる場づくり～②】

親子ミニ四駆講座の開催

障害者の支援団体から「発達障害を抱えるAさんが社会参加できる機会はないだろうか」という相談がありました。市社協ボランティアセンター職員がAさんの話を聞く中で、ミニ四駆（小型の動力付き自動車模型）の製作等に深い造詣があり、ミニ四駆を子どもたちに楽しんでもらいたいという思いを持っていることが分かりました。

Aさんの思いを受け、子育て中の父親世代が集まる機会を作りたいと考えていた職員は、賛同のあった地域の方に開催場所の提供と広報の協力を得て「親子ミニ四駆講座」を企画、令和3年8月8日（日）に「集え子育て世代パパと子！親子ミニ四駆講座」と題し、親子8組20名以上が参加する大盛況となりました。

普段はこのような場に来ることが少ない父親同士が教え合ったり、親子が協力してパーツを組み合わせミニ四駆を完成させると、参加者家族みんなでレースを楽しみました。

6歳児と一緒に参加したお父さんからは「育児は妻任せが多かったので、子どもとたくさん触れ合えて良かった」と感想をいただき、「超楽しかった」と喜ぶ子どもたち、それを見つめるお母さんも笑顔を浮かべるなど、家族交流の場にもなりました。

Aさんからは「とても楽しかった。また続けていきたい。」と話があり、今後も継続して開催できるように支援を行っていきます。



【「ほおっちょけん」のひとづくりの推進 ～ ふくしの担い手を育む～】

福祉教育の取り組み

地域福祉の推進にとって、次世代を担う児童・生徒たちへの福祉教育は欠かせないものですが、コロナ禍の中で保育園や小学校での開催が中止となる中、新たに高校生や専門学校生などを対象とした取り組みを行いました。また、企業向けのほおっちょけん学習も実施しており、「ほおっちょけん」の輪が広がっています。

①【高知県立高知西高等学校】

高校2年生を対象に行っている授業「グローバル探求Ⅱ」で、「福祉」をテーマに探究する生徒21名に対して、令和3年5月、地域福祉コーディネーターがスーパーバイザーとして招かれ、授業を行いました。

高知市内のサロンや子ども食堂等、地域の社会資源や活動状況を紹介するとともに、10月には、進捗状況の確認や今後の見通しについてのアドバイスを行いました。

令和4年度も引き続き、生徒自身が地域福祉について探究し、理解を深めていくよう支援を行っていきます。



《高知西高校での授業風景》

②【高知県立高知国際高等学校】

令和3年6月に高校1年生12名、7月に中学1年生80名を対象にボランティア研修を実施しました。ボランティアの基礎知識や具体的なボランティア活動について説明すると、生徒からは「こんなボランティアがしたい」という希望があり、実際に市社協が募集するボランティア活動に登録された生徒もあり、福祉の裾野が広がっています。19名の生徒と希望する活動先とのマッチングを行い、年度末には担当の先生と振り返りの会を設けました。



《高知国際高校での授業風景》

③【リハビリテーション専門学校 高知医療学院】

令和3年6月、理学療法学科1年生20名に対して、カリキュラムの一環で「ボランティアの実際～社会貢献の在り方～」と題した授業を実施しました。

理学療法士資格を有する職員が講師となり、医療現場の話も含めてボランティア活動の説明を行い、学生からは「学生の中に色々なボランティアをしてみたいと思った」「可能な限り誰かの役に立つことをしていきたい」等の感想をいただき、福祉学習の大切さへの理解を深めることができました。



《高知医療学院での授業風景》

④【学校法人すみれ学園 高知福祉専門学校】

令和3年7月、社会福祉学部2年生11人を対象に福祉学習を実施しました。「地域福祉についての理解を深める」「地域の一員としての意識を育てる」を学習の狙いとして、座学、グループワーク、フィールドワークを行い、地域福祉について理解を深めました。

フィールドワーク時には、高齢者、障害者、子育て世代のグループに分かれ、実際に重りを持ったり、腰を曲げての体験や、学校周辺の地域を歩くことで「高齢者が歩いて買い物に行ける場所がない」「ベンチがあったら休めるね」など地域の特徴や課題を発掘することができ、未来の福祉の担い手たちにとって貴重な体験となりました。



《フィールドワークの様子》

【制度では救えない人を支える活動（春野あじさい会館通所介護事業所から）】

春野にお住いの独居高齢者Aさん。認知症の進行によって「時間の管理」や「栄養管理」が出来なくなっているため、春野あじさい会館のデイサービスは利用できないだろうかと、春野地域包括支援センターより令和3年9月に相談がありました。

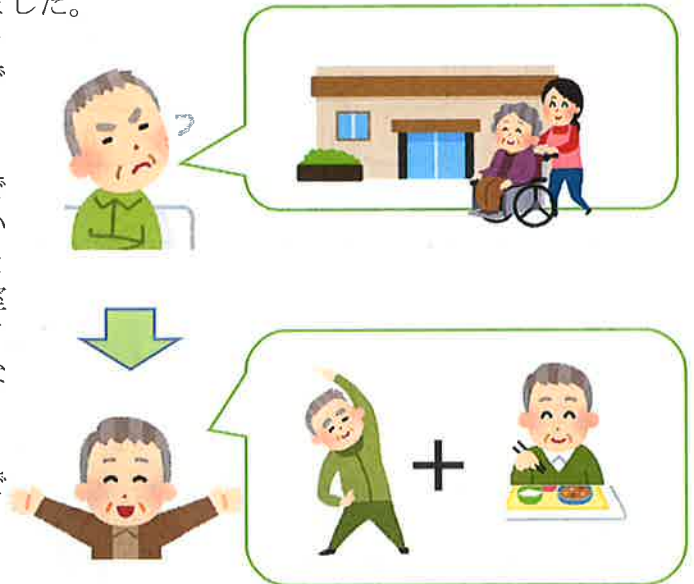
Aさんは以前他の介護施設の利用が馴染まなかったことがあり、デイサービスの利用ではなく、まずは昼食を利用していただく「食事支援」からと、包括支援センター職員と一緒に来所することになりましたが、3回目以降、利用が途絶えてしまいました。

栄養面も心配されるためどうにかできないかと考えていたところ、Aさんは、同じ会館の「体操教室」に友人と参加していることがわかりました。

そこで、「体操に行く“ついでに”昼食をとる」という風に意識を変えていけたらいいのではと、体操教室参加前に昼食をとっていただくようにしました。

また、体操教室がない日にも、職員が電話で昼食の案内をし、好きなタイミングで帰っていただく等居心地の良い環境づくりに配慮したところ、昼食を利用することが定着し、体操教室以外の日にも散歩のあとに立ち寄るなど、デイサービス利用を希望する声もでてくるようになりました。

制度サービスが利用出来ない方についても、地域の介護保険事業所として様々な形で支援できるよう取り組んでいます。



【生活支援ボランティアの養成から活動支援へ

－地域生活課題解決の仕組みづくり】

令和2年度から、市内モデル地区に設置したほおっちょけん相談窓口寄せられた、地域の「ちょっとした困りごと」を解決する仕組みとして、地域でお手伝いしてくれる生活支援ボランティアを養成しています。これまで、一宮、江ノ口西、江ノ口東、三里、旭、秦の各地区で養成講座を開催しており、住民からの「ちょっとした困りごと」を、生活支援ボランティア（総数66名）につなぎ、解決に向けた支援を行った事例も増加しています。

【三里生活支援ボランティア「三里つながりたい」】

相談内容： 自宅の庭の木の枝が伸びて、道路や近隣の家
に飛び出してしまっている。業者に依頼する費用の捻出も難しく、自分で伐採することもできず、困っている。

活動： 生活支援ボランティア6名の協力により、半日
がかりで庭木の伐採と処分を行いました。また、様子を見ていた町内会長や事前にご相談していた民生委員児童委員も協力していただき、伐採した



木の処分のために自家用車を提供していただきました。相談された方は「本当にありがたい。自分の為にこんなにやってもらったので、次は地域の為に何か自分が力になれることは協力をしたい」と、お互いさまの気持ちを育むことができた地域福祉活動となりました。

【いただいたご寄付を活用した取り組み】

コロナの影響により様々な困難を抱え制限を受けながらも自立に向かって生活をしている児童養護施設の子どもたち5施設171名に助成を行いました。助成金は子どもたちへのクリスマスのプレゼントや年始にみんなでかけた外食費用、子どもたちとの旅行のお小遣い等、各施設で工夫して使っていただきました。

| 施設 | 児童数 | 助成金額 |
|------------------|-------------|----------|
| 子どもの家 (相生町) | 47名 | 235,000円 |
| 高知聖園天使園 (新本町) | 51名 | 255,000円 |
| 南海少年寮 (仁井田) | 23名 | 115,000円 |
| 愛仁園 (布師田) | 32名 | 160,000円 |
| 高知聖園ベビ-ホーム (新本町) | 18名 (乳児) | 36,000円 |
| 合 計 | 171名 | 801,000円 |



《各施設での助成金贈呈の様子》



《クリスマスプレゼントをみつけて
喜ぶこどもたちの様子》

【2021年1月～2022年3月までにご寄付をいただいた方々のご紹介（順不同）敬称略】

たくさんのご寄付をいただきまして、誠にありがとうございます。

現金のご寄付

- ・ 中川 哲也
- ・ 野町 康子
- ・ 株式会社 インフラマネジメント
- ・ NPO法人 GIFT
- ・ 第17回高知市民児協・親睦福祉チャリティコンペ
- ・ 株式会社 浜幸
- ・ 匿名希望 2名

合計 2,229,897円

物品のご寄付

- ・ 西原 章元
- ・ ecoeat 御座店
- ・ 株式会社 中村防災サービス
- ・ 東洋羽毛中四国販売 株式会社 愛媛営業所
- ・ 匿名希望 14名
- ・ 寄贈品：テレビ・米・タオル・ストーブ・チャーム付LEDピッカフラッシュ等

ほおっちょけんマンスリー

サポーター様(2022年3月開始)

- ・ 伊尾木 勇詞
- ・ 槇本 善孝
- ・ 徳弘 朋子
- ・ 松井 成起
- ・ 村岡 晃
- ・ 吉岡 章
- ・ 株式会社 中村防災サービス
- ・ 匿名 1名

社協会員令和3年度個人会員様

- ・ 入交 征章
- ・ 大久保 朝子
- ・ 小笠原 千加子
- ・ 岡林 正雄
- ・ 岡林 一彦
- ・ 岡村 太洋
- ・ 岡村 雅夫
- ・ 柿本 安彦
- ・ 蒲原 美恵子
- ・ 北川 力
- ・ 工藤 晃三
- ・ 工藤 繁子
- ・ 公文 秀明
- ・ 澤本 義博
- ・ 島内 幸洋
- ・ 島元 健三
- ・ 末村 美和
- ・ 杉村 善夫
- ・ 関 政子
- ・ 曾根 美智子
- ・ 竹村 雅澄
- ・ 田中 健
- ・ 田中 美世志
- ・ 筒井 早智子
- ・ 豊永 正行
- ・ 中谷 潔一
- ・ 中屋 圭二
- ・ 西野 勇
- ・ 野町 嘉之
- ・ 林 照男
- ・ 廣井 典子
- ・ 藤崎 忠男
- ・ 前田 長司
- ・ 政平 正和
- ・ 舛田 郁男
- ・ 松木 孝明
- ・ 森山 泰宏
- ・ 山崎 大輔
- ・ 吉岡 章
- ・ 吉村 保利
- ・ 民生委員児童委員 691名
- ・ 匿名希望 2名

社協会員令和3年度団体会員様

- ・ 株式会社 アークデザイン研究所
- ・ 医療法人尚志会 愛幸病院
- ・ 税理士法人 アクティブ
- ・ 旭食品 株式会社
- ・ 医療法人新松田会 愛宕病院
- ・ 有限会社 池商店
- ・ 池田歯科医院
- ・ 医療法人防治会 いずみの病院
- ・ 医療法人いよき会 伊与木クリニック
- ・ 株式会社 インフラマネジメント
- ・ 医療法人恕泉会 内田脳神経外科
- ・ 有限会社 内田文昌堂
- ・ 株式会社 エフエム高知
- ・ かつとう耳鼻科
- ・ 和建設 株式会社
- ・ 有限会社 釜原鋳鋼所
- ・ かわず皮フ科
- ・ 医療法人美正会 かわむらクリニック整形外科
- ・ 医療法人川村会 川村病院
- ・ 株式会社 関西設備
- ・ 株式会社 技研製作所
- ・ 株式会社 岸之上工務店
- ・ きよとお歯科
- ・ 金星製紙 株式会社
- ・ 医療法人防治会 きんろう病院
- ・ くぼぞえ外科胃腸内科
- ・ 黒潮電機 株式会社
- ・ 県庁前クリニック
- ・ 構営技術コンサルタント 株式会社
- ・ 株式会社 高銀ビジネス
- ・ 医療法人武田会 高知鏡川病院
- ・ 医療法人高田会 高知記念病院
- ・ 株式会社 高知銀行
- ・ 高知ケーブルテレビ 株式会社
- ・ 高知県信用漁業協同組合連合会
- ・ 一般社団法人高知県鍼灸師会
- ・ 株式会社 高知広告センター
- ・ 高知市職員労働組合
- ・ 高知市まちづくり未来塾
- ・ 医療法人厚愛会 高知城東病院
- ・ 株式会社 高知新聞企業
- ・ 株式会社 高知新聞社
- ・ 高知スタンダード石油 株式会社
- ・ 医療生活協同組合 高知生協病院
- ・ 高知石油 株式会社
- ・ 医療法人尚賢会 高知高須病院
- ・ 高知日産プリンス販売 株式会社
- ・ 医療法人福永会 高知ファミリークリニック
- ・ 株式会社 高知放送
- ・ 株式会社 高知前川種苗
- ・ 株式会社 晃立
- ・ 小松建設 株式会社
- ・ 坂井内科小児科
- ・ 株式会社 サンシャインチェーン本部
- ・ 株式会社 三翠園
- ・ 医療法人三宮会 三宮心療クリニック
- ・ 四銀総合リース 株式会社
- ・ 株式会社 四国伊奈建工
- ・ 四国ガス 株式会社 高知支店
- ・ 株式会社 四国銀行
- ・ 四国葬祭 株式会社
- ・ 四国電力 株式会社 高知支店
- ・ 四国パイプ工業 株式会社
- ・ 株式会社 四国ポンプセンター
- ・ 医療法人仁栄会 島津病院
- ・ 医療法人生生会 下村病院
- ・ 昭栄設備工業 株式会社
- ・ 株式会社 昭和電気工業
- ・ 株式会社 シンテック
- ・ 酔鯨酒造 株式会社
- ・ 須工ときわ 株式会社
- ・ 株式会社 角コーポレーション
- ・ 正和電機 株式会社
- ・ 損害保険ジャパン 株式会社
- ・ 医療法人さくらの里 だいちりハビリテーション病院
- ・ 大三工業 株式会社 高知支店
- ・ 太平産業 株式会社
- ・ 株式会社 太陽
- ・ 高松内科クリニック
- ・ 医療法人はな会 田所内科
- ・ 医療法人望会 谷病院
- ・ 医療法人恭愛会 田村内科整形外科病院
- ・ 株式会社 鍛造連
- ・ 社会医療法人近森会 近森病院
- ・ 株式会社 テレビ高知
- ・ 東高電通 株式会社
- ・ 東洋興産 株式会社
- ・ 東洋電化工業 株式会社
- ・ 土佐ガス 株式会社
- ・ 土佐倉庫 株式会社
- ・ 医療法人須藤会 土佐病院
- ・ 株式会社 轟組
- ・ 特定医療法人久会 囃南病院
- ・ 中澤氏家薬業 株式会社
- ・ 株式会社 中島工務店
- ・ 株式会社 中田建設
- ・ 医療法人鳴子会 菜の花診療所
- ・ 株式会社 西山合名
- ・ 株式会社 日東商事
- ・ 株式会社 ハウジング総合コンサルタント
- ・ パシフィックソフトウェア開発 株式会社
- ・ 医療法人協浜会 浜田循環器内科
- ・ 株式会社 響建設
- ・ 医療法人 ひろせ矯正歯科
- ・ 株式会社 ヒロマツ
- ・ 医療法人大和会 福田心臓・消化器内科
- ・ 株式会社 フジگران高知
- ・ 不二電気工芸 株式会社
- ・ 医療法人おくら会 藤戸病院
- ・ 医療法人ふたつやま会 二山整形外科
- ・ 社会医療法人仁生会 細木病院
- ・ 株式会社 本池澤
- ・ 株式会社 マインドガス
- ・ 松岡内科
- ・ 医療法人緑風会 海里マリン病院
- ・ ミタニ建設工業 株式会社
- ・ 医療法人山村会 山村病院
- ・ 陽和産業 株式会社
- ・ 学校法人 龍馬学園
- ・ 匿名希望 1団体

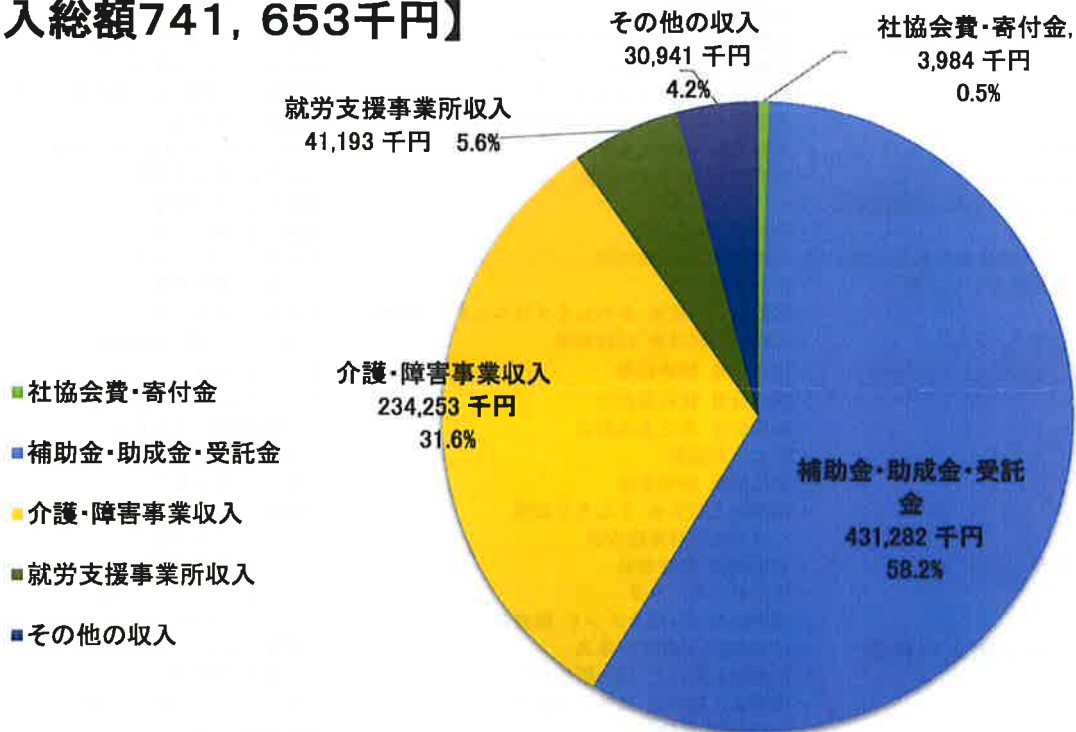


【2021年度財務報告】

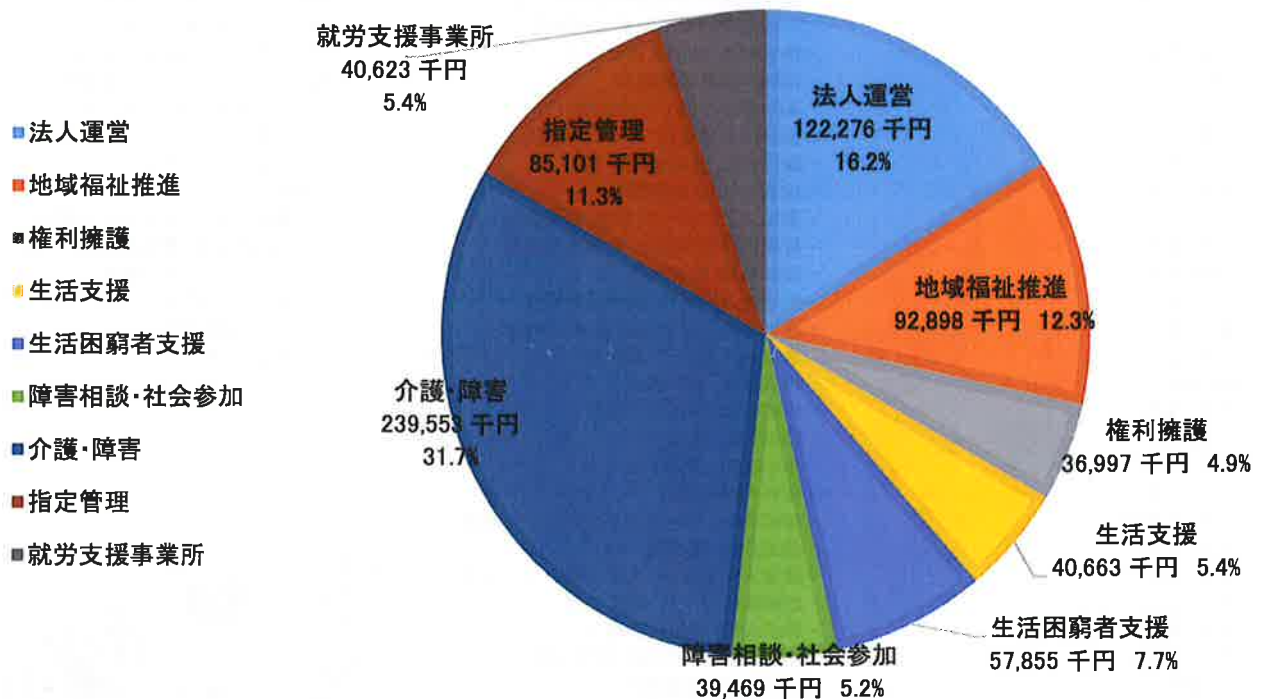
収入のうち約58%が、補助金・助成金・受託金収入となっており、使用目的や範囲が特定されている。これからあんしんサポート事業など、地域社会の課題解決に向けて取り組むため、乏しい自主財源を取り崩して事業を推進している。

2021年度収支差額は、内部留保資金を充当した。

【収入総額741,653千円】



【支出総額755,435千円】



【発行・編集】社会福祉法人 高知市社会福祉協議会

〒780-0850 高知県高知市丸ノ内1丁目7番45号

TEL 088-823-9515

FAX 088-823-8059

E-mail shakyo@kochi-csw.or.jp

URL <https://www.kochi-csw.or.jp/>